

市内活動グループ訪問記

ジャマジャマ

ぜひこの時間が流れてほしい
『ほしゅくーんね』に訪ねて来ました



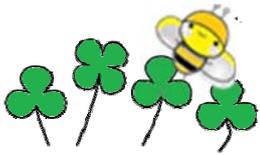
早味きの桜が咲き、明日の陽のこぼれを感じての春節
よなつた3月4日(金)に『特定非営利活動法人ほつ
と ほしゅくーんね』へお邪魔しました。当日は
お忙しい中、所長の谷口薫さんとお話を伺いました。
★『ほしゅくーんね』を知りたくて教えて下さい。

☆指定障害福祉サービス事業所、生活介護事業所、通
所の口中活動の場所です。人数は男性の名、女性7
名の計13名、職員は60名のおひかりの会の名(の
時も含め)の活動しています。通所方法は、バス
電車、徒歩、送迎などです。以前は地域作業所とし
て活動していましたが、同じ考えを持った4つの事
業所で法人を立ち上げ、今に至っています。今の『ほ
しゅくーんね』になってから約10年になります。

★主な活動はどのようなものですか？
☆段ボール組仕切りの組み立て、ピース製作、工作、
シクリエーションです。段ボール組仕切りは段ボ
ールの仕切りを作る作業です。仕切りは大・小あ
ります。このほかの工程に分けて作業を行います。
切り取り線に沿って切り分けた仕切りは、枳形に組
み、出来上がった製品はたたまれ、紐をかけて出荷
する作業です。



きっちり組み立てられます



紐をかける作業は職員さんが機械を使って行いま
す。大きなこの部屋にそれぞれテーブルが2個ずつ
あり、班に分かれて分拍し作業を
行ないます。分拍作業は毎日変わ
り、この作業も経験がきくように
しています。
作業にあたっては準備から片付
けまで、例えばテーブルシート
を敷いたり、エプロン、手袋の準備などまで自分たち
で行っています。



春のおしゃれ
にピッタリ!

作業の過程がおもしろい、きくことは自分たちで
るように常に職員から働きかけるのはな、難しい
時には利用者さんから言ってもらいながら、時に待ち
の姿勢でいることです。障がいの種類により、お話が
大好きだったり、言葉がなかなか出さなかったりと
いろいろありますが、そういう時も言葉がでない
まで待ちますというのです。職員が一緒に行えば早く
終わるのでしょが、それを待たせたり、出来ぬ
ことも出来なくなってしまうし、体力や機能の低下を少
くも緩やかにする意味もあるというのです。皆さん、も
くもく集中して作業を行なっています。

いつもは、もっとゆったりしていると思いますが、今日は
取材が来るからむねむねと緊張感があるのか、いつもより頑
張ってシャキーンとしているようです。穏やかな笑顔でお
こころを所長さんへ。

取材中、「こちらに向かって小さく手を振ってけれ
る女性、思わずこちらも手を振って返す、なんかほっ
こです。その後はすべて作業に戻り集中。」お前回は
なんですか?と尋ねる女性に対しては、所長さんが「先
ず、自分の名前を言いつつから相手の方向に手を振って
うなづいて、私の名前を言います。お前はななつす

か?」と問い直します。自宅だけでなくグループホー
ムから通ってきている方もいるため、集団の中でも生
活していけるように集団での決まり事を伝えるという
です。作業と休憩のメリハリを付け、この先に進んだ
りやきやきして頑張ります。

所長さんをはじめ、職員さん達の姿勢が利用者さん
に伝わっているからか、もくもく作業をしながらも
何か穏やかな空気を感じます。
ピース製作は、マスクチェーン、マスクチャーム
ネックレスなど、ピースは職員さんの方で準備し、ピ
ースの色の順番を決めて糸を通すのもあれば、色の順
番はお任せで作った物もめり、これもマスクに仕上が
っています。店頭販売、またはめぐり会館のハン
ドメイドショップ『バオバン』にて販売しています。
マスクのおしゃれいかがですか。

他にも、「コロナ禍で行動が難しいですが、茶道体験
壁面作り、季節の行事などを行ってほしいというのです。
この原稿が発行される頃は桜が咲いているかな?」
そうしたらお花見もいこうかな。

(植野・小E)



♪春の弥生

結構なお手前ですね!

*特定非営利活動法人ほつと。
ほつとさーくる



所長 谷口薫

〒252-0231

相模原市中央区相模原1-5-13

TEL 042-810-7617